

ニッセイ名作シリーズ 2025『ジャック・オー・ランド ～ユーリと魔物の笛～』鑑賞アンケート結果

○児童の「公演内容の満足度」(「とても楽しかった」「楽しかった」の回答)は95.6%、
教員の「芸術鑑賞教室としての満足度」(「とても良かった」「良かった」の回答)は98.8%と
高い評価をいただきました。

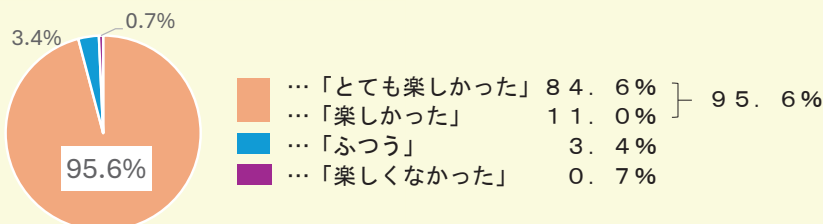
I. 児童のアンケート結果・コメント

・2025年6～7月、鑑賞校全359校の児童28,866名を対象にアンケートを依頼、回答のあった児童13,763件を集計したものです。
・コメントは、アンケートのフリーコメントのなかから当財団で抽出・編集して掲載しています。

1. 公演を鑑賞してどう思いましたか

➤ 「とても楽しかった」「楽しかった」が95.6%

〔・3年生の児童では95.5%〕
〔・4年生の児童では95.7%〕



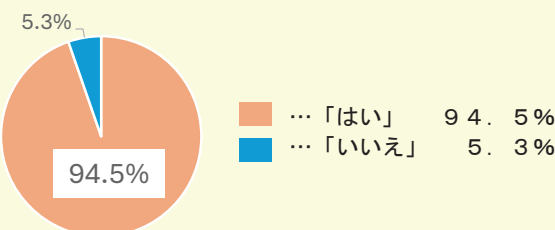
[児童(3年生・4年生)のコメント]

○ユーリがエルをたすけてあげたあと、心の中のあくまとたたかって、かつところが感どうしました。
○いつもさわがしいみんなが、げきを見たらすごくしずかに見てて、わたしは感どうしました。みんながしずかになるくらいむちゅうになるって、すごいとおもいました。
○ユーリがなんでも、物をなおすのがすごかった。歌1つ1つに心をこめて歌っていたようにきこえて、よかった。
○舞台が暗くなったり、赤くなったりしてとても面白かったです。大道具がすぐに動いて、「ここで場面が変わったのか」ととてもわかりやすかったです。

2. また劇場で公演を見たいですか

➤ 「はい」が94.5%

〔・3年生の児童では94.6%〕
〔・4年生の児童では94.5%〕



[児童(3年生・4年生)のコメント]

○げきじょうの公えんは、人々を楽しませるだけでなく、人々に「とある事」を教えるためにあることに気づきました。今回は「信じる心」をげきで表してくれました。とても楽しくて、色々なことを学べました。また見たいと思いました。
○ホールやかいだんなどがとてもきれいでおしゃれでした。なので、入ったしゅんかんとても楽しみになりました。
○衣裳などの色、ライトのてらしかななどを工夫したりしていることがつたわり、すてきだと思いました。色々な音楽などが流れている時は、音楽のどくどくメロディーなどがつたわってききました。すごくみとれていたの、すぐおわってしまったようにかんじました。

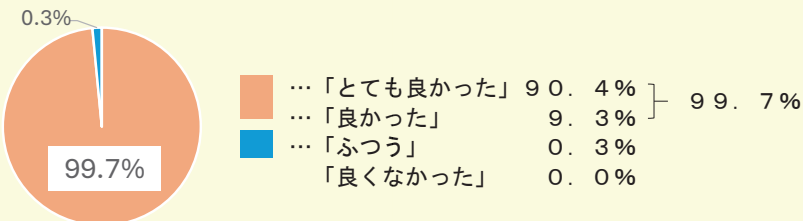
II. 教員のアンケート結果・コメント

・2025年6～7月、鑑賞校全359校の教員2,014名を対象にアンケートを依頼、回答のあった教員356件を集計したものです。
・コメントは、アンケートのフリーコメントのなかから当財団で抽出・編集して掲載しています。

1. 公演を鑑賞してどう思いましたか

➤ 「とても良かった」「良かった」が99.7%

〔・3年生の教員では99.1%〕
〔・4年生の教員では100%〕



[教員のコメント]

○たくさんの美しいもの(台詞の発声、歌声、音楽、踊り、衣裳、舞台や舞台上の諸道具類等々)に囲まれて、児童が世の中にある様々な美しいものにふんだんに触れられたことも、とてもよい経験になった。
○児童の発達段階に合ったわかりやすい内容で、歌やダンス、衣裳や舞台の様子も素敵だった。
○舞台の演出が素晴らしかった。児童からの言葉にも「ダンスの迫力がすごかった。」とあった。表現の方法を学ぶ機会や、キャリア育成の視点にもつながると感じた。
○魔物の衣裳・ヘアメイクを気に入っている児童がたくさんいて、話の内容だけではなく裏方の仕事や楽しんでもらうための工夫を発見しやすかった。

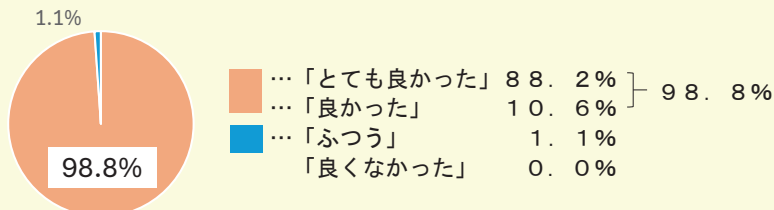
Ⅱ. 教員のアンケート結果・コメント

・2025年6～7月、鑑賞校全359校の教員2,014名を対象にアンケートを依頼、回答のあった教員356件を集計したものです。
・コメントは、アンケートのフリーコメントのなかから当財団で抽出・編集して掲載しています。

2. 芸術鑑賞教室としてどうでしたか

➤ 「とても良かった」「良かった」が98.8%

〔・3年生の教員では97.3%〕
〔・4年生の教員では99.6%〕



〔教員のコメント〕

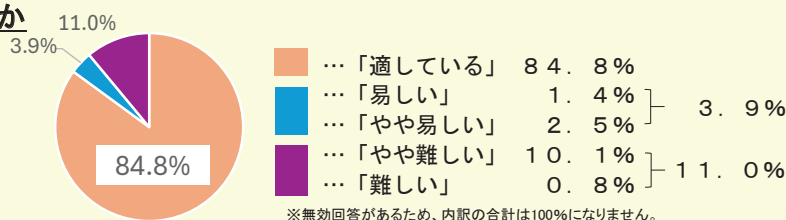
- 親や先生から少しずつ離れて、友達と行動を共にする発達段階なので、自分の利益や馴れ合いの関係ではなく、本当の友達を考える内容だったため、児童らの状況にピッタリだと思った。
- 友達とのつながりや、信じる心をテーマにした公演で自分だけでなく相手意識にも目を向けていきたい学年にちょうどよかったと思う。
- 観劇時のマナーを学ぶことができた。今の子どもは生まれた時からネットやテレビなどが身近にあり、情報を一方的に与えられ、それに自分がリアクションをしても何の反応も返ってこない経験を多く積んでいる。今日の観劇で、自分のリアクション（拍手や笑い声など）が会場のムードを作り出していくという経験ができたのではないかと感じた。

3. 児童にとって公演の内容はいかがでしたか

a. 公演の難易度はどうでしたか

➤ 公演の難易度は「適している」が84.8%

〔・3年生の教員では79.6%〕
〔・4年生の教員では89.0%〕



※無効回答があるため、内訳の合計は100%になりません。

〔教員のコメント〕

- 中学年(3年生)にとって内容がわかりやすく、終わった後も児童がお気に入りのキャラクターの話などで盛り上がっていた。
- 友情という子ども達にとって身近なテーマだったこと、また、この年代の子の心の葛藤という部分にも焦点が当てられ、自分事として劇を見られた。
- 長時間集中することが難しい児童もいるので「やや難しい」点もあるが、友達を信じる心、裏切らない心など、心に響いた様子が見られる児童が多かった。

b. 子どもたちの反応はどうでしたか

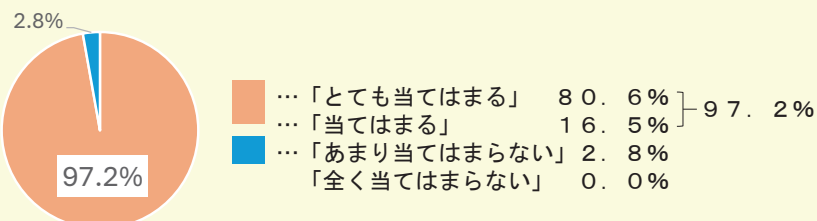
〔教員のコメント〕

- 感動して泣いている児童がたくさんいた。素直に物語の世界に没頭できたことで、心が洗われ、気持ちもリフレッシュできたようだ。素敵な感想が本当に多く、価値ある体験ができたこと心から感じた。
- 鑑賞後に学校で書いた「振り返りカード」の絵には、様々な場面や登場人物が描かれており、同じ作品でも子ども一人ひとりによって受け止める部分がそれぞれだと感じた。
- 劇の内容、衣裳やメイク、装飾にも目を向けて、児童同士で感想を伝えあっていた。見たもの、感じたことを言語化して、思いを共有することができていた。
- ほとんどの児童が内容を理解し、友達を大切にしたいという声があがっていた。
- 鑑賞後、学校での歌い方、話し方に自信が持てたり、教師の声がけで恥ずかしがらずに発言する子が増えた。
- 日生劇場に入っただけで中の様子に圧倒されている子も多く、鑑賞後はぜひ家族でまた観に行きたいという感想の子が多かった。自分も将来舞台上に立ちたいという子もいた。

4. また参加申込したいですか

➤ 「とても当てはまる」「当てはまる」が97.2%

〔・3年生の教員では96.5%〕
〔・4年生の教員では97.4%〕



〔教員のコメント〕

- 家庭であまり芸術鑑賞しない児童でも、テレビや動画と違う迫力を感じて欲しい。
- 電車乗車や劇場鑑賞などのマナーを学ぶ良い機会になる。
- 感受性豊かな子ども達に、映像ではないミュージカルや劇などに触れる経験をさせたい。そこから生まれる子ども達の想いや考えを言語化することで学びに繋がる。

<お問い合わせ>

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場] 業務管理部

E-Mail: school@nissaytheatre.or.jp